



MONTHLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 会長 土田 博 幹事 小林悦子 第2530地区ガバナー 右近八郎 第7~9 回例会

発行 2023.10.11

第7回例会 通算第1174回例会 令和5年9月7日(木)

例会変更 郡山コスモスRCとの合同例会
18:30~19:30 ベルヴィ郡山館 本館2階 イシス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ 国歌斉唱
- ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ ロータリーの目的・四つのテスト唱和：井上 厚さん
- ▶ 郡山コスモスRC出席者(10名)
本郷俊之 会長／齋藤健二 幹事／桑原雅人 直前会長
寺山幸徳 会長エレクト／土屋繁之 戦略計画委員長
平原 憲 プログラム委員長／向臺行雄さん
佐藤正春さん／佐久間 春さん／星 相ノ介さん

挨拶：土田 博 会長

郡山コスモスRCの皆さんとともに、短い時間ですがお食事をゆっくりと楽しみながら、交流の場としていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。

8月27日(日)に第24回郡山アーバンRC杯中学野球大会の決勝戦と閉会式が明健中学校で開催され、郡山第六中学校が優勝しました。無事に全試合を終えることができ、大会開催・運営にご尽力された先生方やご父兄に感謝を申し上げて閉会させていただきました。

挨拶：本郷俊之 郡山コスモス RC 会長

今日は短い時間ですが有意義な時間としたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。



▶ 各テーブルでの話し合い



第8回例会 通算第1175回例会 令和5年9月14日(木)

12:30~13:30 ベルヴィ郡山館 本館2階 イシス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「我らの生業」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和：渡邊万里子さん

挨拶：土田 博 会長

今月は基本的教育と識字率向上月間です。RIからロータリー財団への支援に関するメールが届いておりました。

プログラム：会員卓話



● 蔭山寿一さん

私の会社は蔭山工務店という建設会社ですが、グループ企業に藤寿産業という会社があり、以前に皆さんに企業訪問で来ていただいたことがありました。その藤寿産業が、浪江の企業とウッドコアという合併会社を作りました。

ウッドコアは、福島イノベーションコースト構想に基づく農林水産プロジェクトとして、浪江町の棚塩産業団地内に創立された福島高度集成材製造センター、通称 FLAM(エフラム) の事業を委託された企業です。福島県産材の需要を拡大し、地場産業である林業の再生を目的に、県内はもとより都市部の大型木造施設へ高品質な集成材の供給を行ってまいります。

昨年 7 月に集成材の JAS 認証を取得して本格的な稼働が始まっています。この工場は、国産材を中心とした原木からの集成材の一貫製材工場であり、国内初の構造用大断面集成材の量産工場であり、木質耐火部材等の組立・加工の機能を持っています。

FLAM(エフラム) の事業の目的は地域の復興・再生で、地域に新たな雇用の創出をするという目的もあります。FLAM(エフラム) には SDGs に基づくカーボンニュートラルの考え方があり、新たな木材産業や製品の開発を行っています。

ウッドコアは持続可能な社会の実現に向け木材利用を推進し、福島県産並びに国産の素材の生産量を拡大しています。森林で木を伐採した木材を使い、伐採したあとにまた木を植えることによって、若い木の成長過程で二酸化炭素を吸収してもらうという森林の循環を進め、林業を循環・再生していこうということです。

都市部を中心に新たな木造建築が進んでおります。東京オリンピックのために隈研吾さんがデザインした国立競技場の梁や柱には、多くの木材が使われました。

その頃私も高輪ゲートウェイ駅舎の屋根材の仕事をやらせていただきました。現在、大阪万博会場を一周する回廊の、直径 700 メートル、全周で約 2 キロの 3 分の 1 の工区をやらせていただいています。日本の伝統工法で作られ、完成すれば世界最大規模の木造建築と言われております。6 月 30 日に第一列目の柱を建てる建築式に、うちの監督と大工さんとともに参加してまいりました。

第9回例会 通算第1176回例会 令和5年9月27日(木)

例会変更 ガバナー公式訪問 会場:郡山ビューホテル

9:30~10:30 会長幹事会

10:30~12:00 クラブ協議会

12:30~13:30 例会

- ▶ ガバナー入場
- ▶ 開会点鐘 ▶ 国歌斉唱
- ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ ロータリーの目的・四つのテスト唱和:井上 厚さん
- ▶ ゲスト:右近八郎 第2530地区 ガバナー(福島RC)
高橋金一 中央分区ガバナー補佐(郡山西RC)
菅沼 裕 地区代表副幹事(福島RC)
鈴木 茂 中央分区幹事(郡山西RC)

挨拶:土田 博 会長

例会に先立ち会長幹事会、クラブ協議会が行われ、右近ガバナーからさまざまなご指導をいただきました。今後のクラブ活動・運営に生かしたいと思っております。

郡山コスモスRCが10月10日(火)にAika(アイカ)で6時30分から夜の例会を開催するとのお知らせがありました。

プログラム:ガバナースピーチ

●右近八郎ガバナー

今日は郡山アーバンRCに訪問させていただきました。女性もいっぱいいらっしゃるのですがいつもとは雰囲気ちょっと違います。地区のスローガンは「ロータリーの誇りを楽しもう!」です。楽しいにもいろいろな深みがありまして、皆さんが胸に秘めている誇りを楽しんでいただきたいということです。



今日のスピーチの概要は、国際ロータリーの現況、組織の機能性と精神性、日本文明とロータリーの未来、楽しいロータリー活動という内容です。2530地区の公式な会員数は2168名で、ピーク時に比べて500人以上減っています。そのうち女性は7%、173名です。

中央分区10クラブの会員数の増減をグラフで見ると、郡山アーバンRCはこの5年間で2割減でだいぶ減っています。郡山コスモスRCの増減率は高いです。

初期のロータリーはビジネスで優位で、機能的で個別的なものでしたが、奉仕をすべきという第1の危機があって対立を生み、ほどなくしてシェルドンがビジネスのルールとして職業奉仕と言われました。同じ時期に精神的な面で超我的奉仕というのが出てきました。これにより鋭い対立を生み、分裂の危機の第二の危機がありました。これを発展的に解消したのが100年前の決議23-34という、冷静な妥協案でありました。いわゆる古典的なロータリーはここで完結しました。あとはそのビジネスモデルを展開して、量的拡大に進んできています。

この間に第三の危機である経済大恐慌、第四の危機の第二次世界大戦を経て、20世紀の最後になって第五の危機と言われる先進諸国での会員減少という局面を迎え、RIは非常に危機感を感じ

じて大きく方向転換をしました。CLP、DLPと呼ばれる統合的なガバナンスで統治方式を導入し、機能的な方向に振りしました。これまでロータリーが幾多の危機を乗り越えてきたのは、友情、親睦、寛容、善意で包まれていることがキープポイントだろうと考えております。

国際協議会でのRI首脳4人のスピーチをご紹介します。RI会長のゴードン・マッキナリーさんは、以前のリーダーたちの良いアイデアを前進させ、ロータリーのビジョン声明を実現するために、改めて平和の推進に向けて進みましょうと「世界に希望を生み出そう」というテーマを提案されました。途中で実の弟さんがメンタルヘルスを患って自殺されたとかミングアウトされ、メンタルヘルスに関してもロータリーは隣人愛として何かできないかという提案もあわせてされました。

ジェニファー・ジョーンズ直前会長は精神性を重んじていました。パリー・ラシーンさんは財団トップの財団管理委員長、ジョン・ヒューコさんはRI事務総長兼CEO、事務局のトップです。

(以下中略)

“ENJOY ROTARY!”だけではなく、あなたの内にある誇りといったものを楽しんでいただきたいということから“ENJOY the ROTARY PRIDE!”“ロータリーの誇りを楽しもう”を地区のスローガンに採用させていただきました。

▶ 閉会点鐘・記念撮影



第24回 郡山アーバンRC杯中学野球大会報告

市内19チームが参加して8月11日(金)、26日(土)に各会場で行われてきた第24回郡山アーバンRC杯中学野球大会は、27日(日)に明健中学校で決勝戦と閉会式が行われて無事に終了しました。優勝は郡山第六中学校、準優勝は明健中学校、3位は郡山第五中学校と郡山第七中学校でした。

